

環境かわら版



<http://www.pref.aichi.jp/0000007029.html>

平成28年11月号 (第246号)



環境情報が満載 P2~10

Let's Eco アクション in AICHI
11/19 (SAT)・20 (SUN)
会場: アスナル金山
金山総合駅連絡通路・南口
時間: 10:00~16:00

地球への想いがたぎるイベント

地球と仲良く暮らしていこう。

19・20 OS☆U パフォーマンス ステージ
AELネット紹介 & エコアクションクイズ

企業・地元 キョラクタニも登場!

名古屋CLEAR'S パフォーマンスステージ & 清掃活動 19・20

グリーンキャラプロジェクト ガチャピン&豆しば エコアクション ステージ 19

清心みどりそうプロジェクト 19 安田大サーカス 団長安田 トークショー

ごみゼロ社会推進あいち県民大会 大村秀章 × 堀ちえみ 愛知県知事 トークショー

OS☆Uも登場!

環境に関する 展示・ワークショップ・ 物販もあります!

金屋ジュリエッタ パフォーマンスステージ & 清掃活動 19・20
かなやまマルシェ
金山総合駅南口

ファイナルセレモニー 20
●大村知事あいさつ
●エコ川柳表彰式
●あいちエコアクション賞

「Let's Ecoアクション in AICHI」を開催します



生物多様性地域戦略セミナーを開催しました



環境活動ステップアップ講座の参加者を募集します!



エコアクションを
はじめよう! つづけよう! つなげよう!

<http://aichi-eco.com>





愛知県では、未来の地域の担い手となる大学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、大学生を対象にした「人づくり」プログラム「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」を実施しています。

研究所では、7月の開所式以降、研究員である大学生40名がパートナー企業10社から提示された環境課題に対して、解決策を検討しています。

この度、その研究成果を発表する「**成果発表会 2016 ～考えよう！未来の環境～**」を開催します。

当日来場者の皆さんによる投票で、最優秀賞に選ばれた1チームを、全国大学生環境活動コンテスト（12月に東京で開催）に研究所の代表として派遣します。

参加費は無料です。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

1 開催日時

11月23日（水・祝） 13:00～17:30（開場 12:30）

※原則、途中入場はできませんので、13時までにはご着席ください。

2 開催場所

愛知淑徳大学星が丘キャンパス 2号館 6階講堂
（名古屋市千種区桜が丘 23）

3 内容

(1) 研究成果発表会

研究員10チームから研究成果をプレゼンテーションし、パートナー企業からの評価をいただきます。

(2) 修了式

研究所の所長である大村知事から研究員に修了証を授与します。また、来場者の皆さんの投票により決定した最優秀賞の発表を行います。

(3) 特別講演

のむらただひろ
野村忠宏 さん「諦めないココロの作り方」

柔道オリンピック3連覇の偉業を成し遂げるまでの経験、そして、その後も現役にこだわって柔道に

向き合ってきた熱い想いをお話いただき、この地域の環境活動に取り組む若者たちに、自分達が思い描く理想の未来に向けて、諦めないこと、継続していくことの大切さについてメッセージをいただきます。
※当日は、3つのオリンピック金メダルを持参。

4 参加募集について

(1) 募集期間

11月21日（月）まで（必着）

(2) 募集人数 300名（要事前申込、先着順）

(3) 参加費 無料

(4) 応募方法

Eメール、Webサイト、はがき又はFAXで、①氏名（ふりがな）、②電話番号又はEメールアドレス、③参加人数を記入の上、お申し込みください。

(5) 応募先

Eメール：toroku@sustaina-ken.net

Webサイト：<https://sustaina-ken.net/>

はがき：〒460-0003

名古屋市中区錦2-12-8 御幸本町ビル5F
かがやけ☆あいちサステイナ研究所事務局（株一人計画内）

FAX：052-222-2595

※応募者多数により参加いただけない場合は、ご連絡します。



特別講演講師 野村 忠宏 さん
（ミキハウス所属）

〔 環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210（ダイヤルイン） 〕



連載 サスティナ研ニュース ④ ～ 研究員が各パートナー企業の現場で調査・研究を実施 ～

「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の活動状況について、連載しています。

連載の4回目は、8月～9月に実施した「企業環境活動研究」について紹介します。

これは、研究員がチームごとにパートナー企業10社の現場で、企業から提示された課題を解決するために調査・研究を実施したものです。今回は前月号に引き続いて残りの5チームの紹介です。

詳細は Web サイトでも、随時ご覧いただけます (<https://sustaina-ken.net/>)。

1 チーム・SMBC

【研究課題】環境配慮型モノづくり企業を応援する企画を検討せよ

チーム・SMBCは、(株)三井住友銀行の顧客であるホシザキ(株)の環境取組を調査するために、豊明市のホシザキ(株)本社を訪問し、どのような環境配慮型モノづくりを実施しているのかヒアリングしました。



ホシザキ(株)本社で調査

また、大学生向けのアンケート調査により認知度等を把握し、ホシザキ(株)の取組を若い世代にPRする企画を検討しています。

2 チーム・ミツカン

【研究課題】ミツカンの環境活動を小学生に分かりやすく伝えるプログラムを検討せよ

チーム・ミツカンは、「MIZKAN MUSEUM (通称MIM)」において、現状の小学生対象のプログラムを体験するとともに、MIMの環境配慮の取組を現場で調査しました。



MIMの現場調査

また、担当の方へのヒアリングにより、酢の原料となる水を守るために、様々な環境取組がなされていることを学びました。現在、チームは、MIMを活用した小学生向けプログラムを検討しています。

3 チーム・BTMU

【研究課題】お客様が当行を利用することで、環境配慮が実感できる新しいサービスを検討せよ

チーム・BTMUは、(株)三菱東京UFJ銀行の担当の方から本来業務や「Eco 通帳」などの環境取組について学びました。チームはお客様のEco 通帳の利用等について意向を把握するため、アンケート調査も実施しました。この結果を踏まえ、銀行サービスの中でどのような工夫をすれば環境配慮を実感していただけるのか検討しています。



ヒアリングの様子

4 チーム・名鉄観光

【研究課題】持続可能な社会に向けて「環境」をテーマとした旅行商品を検討せよ

チーム・名鉄観光は、担当の方から旅行商品開発に当たってのポイントについてヒアリングした上で、それぞれが考えた県の観光資源を生かした若者に魅力のある旅行プランを持ち寄り、商品の組み立てなどを議論しています。今後は現地調査の結果を踏まえ、自分達のプランの具体化に向けた検討を行います。



企業担当者と打合せ

5 チーム・ユニー

【研究課題】自社ブランドの環境配慮商品について、若い世代向けの新たな商品を開発せよ

チーム・ユニーは、環境配慮型プライベートブランド「eco!on」の店頭調査や、若い世代に支持される商品を把握するため、大学生がどのような商品を購入しているかを実態調査しました。現在、それぞれが商品アイデアを持ち寄り、その中から開発する商品を絞り込み、若い世代に訴求力のある商品を検討しています。



商品の絞り込み

環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)

「Let's エコアクション in AICHI」を開催します

日常生活の中で行う地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」^{※1}に県民の皆さんが取り組んでいただくきっかけとなるよう、県民参加型の環境イベント「Let's エコアクション in AICHI」を開催します。また、本イベントにあわせて、「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」と「海ごみ減らそうプロジェクト」を併催します。皆さんお誘い合わせの上、是非ご来場ください。参加費は無料です。

1 開催日時

11月19日(土)、20日(日) 10:00～16:00

2 開催場所

アスナル金山、金山総合駅連絡通路橋・南口

3 主な内容

(1) ステージイベント

- ・大村知事×堀ちえみさんのトークショー(11/20)
家庭の中でできるごみ削減方法などのアイデアを紹介(3Rの重要性を周知する「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」として実施)
- ・安田大サーカス 団長安田さんのトークショー(11/19)
海岸に漂着するごみを減らすために私達ができることを楽しく紹介(海ごみの減量化とポイ捨て防止を推進する「海ごみ減らそうプロジェクト」として実施)
- ・グリーンキャラプロジェクト* ガチャピン&豆しばエコアクションステージ(11/19)

ガチャピンと豆しばが楽しいクイズでエコアクションを紹介

※ グリーンキャラプロジェクト

緑色の人気キャラクターであるガチャピン・豆しばなどが「セーブ・ザ・グリーン」を合言葉に、自然のことを勉強したり木を植えたり、木のおもちゃや遊具であそんだりして緑の大切さをアピールする活動

- ・「あいちエコアクション広報部」の地元アイドルグループOS☆Uのライブ、エコアクション活動報告
- ・環境活動に取り組む団体(NPO・企業等)の発表

(2) ワークショップ・ブース展示

- ・環境活動に取り組む団体(NPO・企業等)による展示、ワークショップ、物販

^{あえる}・AELネット(愛知県環境学習施設等連絡協議会)、エコリンクあいちのPR

(3) その他

- ・エコアクションを題材として募集したエコ川柳の優秀作品を会場に展示するとともに、20日(日)のファイナーセレモニーで受賞者への表彰式を実施
- ・会場内でクイズ等に参加した方(先着)へオリジナルエコグッズ(タンブラー、シリコンラップ)をプレゼント



堀ちえみさん



安田大サーカス 団長 安田さん



OS☆U



ガチャピン&豆しば



エコアクションを体験できるワークショップ
※昨年度の様子



あいちエコアクション宣言
※昨年度の様子

詳細はWeb ページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/ecoaction.html>)

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)
資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン)

環境活動ステップアップ講座の参加者を募集します！

市民団体等による森と緑づくり活動や環境学習の裾野を広げ、活動のレベルアップを図るため、「あいち森と緑づくり税」を活用し、「環境活動ステップアップ講座」を開催します。

環境活動を実施する上で課題となる「安全」・「企画」・「広報」といったテーマを取り上げ、野外実習や屋内での講義、ワークショップなどを織り交ぜて実施します。多くの方のご参加をお待ちしております（参加費は無料ですが、事前申込が必要です。）。

1 対象者

- ・「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」の実施団体に所属する方
- ・森と緑の保全活動や県民を対象とした環境学習を自主的に行っている方、これから行う予定の方



昨年度の講座の様子

2 開催日時・場所

日時：平成 28 年 12 月から平成 29 年 2 月

場所：あいち環境学習プラザ(愛知県東大手庁舎内)

もりの学舎 (愛・地球博記念公園内)

(詳細は下表のとおり)

3 申込方法

以下の①②の内容を記載して、郵送、FAX、Eメールのいずれかにより、お申し込みください。申込用紙は、県の Web ページからもダウンロードできます。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000088778.html>)

- ①希望のテーマ・日時（複数テーマ参加歓迎）
- ②参加者の氏名（ふりがな）、所属団体（あれば）、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス

4 申込期限

各回とも開催日の 7 日前まで（必着）

5 申込先

〒460-8501（郵送の場合、住所の記入不要）

愛知県環境部環境活動推進課

調整・環境配慮行動グループ

電話：052-954-6240 FAX：052-954-6914

Eメール：kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp

表 テーマ・日時等

テーマ・日時	内容	実施場所	定員
安全編 第1回：12月9日(金) 第2回：12月10日(土) 各回とも午前10時～午後4時	救急救命講習等を通じ、自ら考え実践できる安全管理を身につける。 ・AED講習を含む救急救命講習 ・フィールドにて危険予知発見ワークショップ	もりの学舎 (第1回・第2回とも)	各回 25名
企画編 第1回：1月13日(金) 第2回：2月4日(土) 各回とも午前10時～午後4時	参加者を引きつける魅力的な企画を作る。 【講義】企画のアイデアの考え方を学ぶ。 【実習】実際の活動に使うアイデアを出す。	第1回：もりの学舎 第2回：あいち環境 学習プラザ	各回 40名
広報編 第1回：1月14日(土) 第2回：2月3日(金) 各回とも午前10時～午後4時	活動仲間と参加者を増やすための広報スキルを身につける。 【講義】より効果的な広報のためのデザイン、文章、情報発信を学ぶ。 【実習】実際の活動の広報物を改善していく。	第1回：もりの学舎 第2回：あいち環境 学習プラザ	各回 40名

※各テーマとも、第1回と第2回は同じ内容です。

〔 環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ 電話 052-954-6240 (ダイヤルイン) 〕

PM2.5 注意喚起情報メール配信サービスを開始しました

愛知県では、PM2.5 が高濃度になり注意喚起情報を発令した際に、事前に登録していただいた県民の皆さんにメール配信するサービスを実施しているところです。このたび、今期（平成28年11月1日～平成29年8月31日）の配信サービスを開始しましたのでお知らせします。

是非ご活用いただき、注意喚起情報が発令されたときには、不要不急の外出を控えるなどの対応をお願いします。

なお、前回（平成27年11月1日～平成28年8月31日）登録いただいた方も再度登録が必要となりますので、ご注意ください。

メール配信サービスの登録方法

①配信を希望する区域のメールアドレス宛に「空メール」を送信してください。

②しばらくすると、登録完了のメールが届きます。

* 複数区域を登録する場合は、区域毎に本手順を繰り返してください。

【区域別メール配信アドレス】

尾張区域
名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
owari_pm25@taiki-kankyo-aichi.jp
西三河区域
岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町
nishikawa_pm25@taiki-kankyo-aichi.jp
東三河区域
豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村
higashikawa_pm25@taiki-kankyo-aichi.jp

詳細は Web ページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/taiki/0000088003.html>)

（ 大気環境課 調査・監視グループ
電話 052-954-6216（ダイヤルイン） ）

生物多様性地域戦略セミナーを開催しました

愛知県では、平成25年3月に「あいち生物多様性戦略2020」を策定し、「人と自然が共生するあいち」の実現を目指しています。地域固有の自然環境や生物多様性が存在し、地域に密着した身近な取組を担っている県内市町村にも、地域戦略を策定してもらい、よりきめ細かな取組を進めてもらうため、その支援の一環として、「生物多様性地域戦略セミナー」を開催しました。

- 1 開催日 9月28日
- 2 開催場所 愛知県自治研修所8階講堂
- 3 参加人数 77人
- 4 セミナー概要

環境省、名古屋市、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)から地域戦略について説明があり、その後、日本福祉大学の福田教授、中部大学の南教授

及び愛知県で対談を行い、地域戦略の重要性について伝えていただきました。

セミナー後の個別相談会では、市町村から地域戦略の具体的な策定手続きの相談があったほか、参加者アンケートでは、策定に向けて県のフォローアップを希望する市町村もありました。

現時点で県内市町村策定数は3市のみとなっている



対談

ため、先駆的に地域戦略策定を推進している県としては、少しでも多くの市町村が策定できるよう引き続き支援をしていきます。

（ 自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475（ダイヤルイン） ）

平成29年度愛鳥週間用ポスター原画募集の 優秀作品を決定しました

(公財)日本鳥類保護連盟主催「平成29年度愛鳥週間用ポスター原画募集」の愛知県選考に県内の753の小・中・高等学校等から計29,740作品のご応募をいただきました。審査会での選考の結果、特に優秀と認められた次の30作品を愛知県選考作品に決定し、同連盟に応募しました。

<愛知県選考作品一覧>

・小学校の部



田原市立田原南部小学校1年
おおば みおり
大場 美織さんの作品



津島市立神守小学校1年
まき さらら
牧 更良さんの作品



名古屋市立汐路小学校2年
あぶかわ よしのぶ
虻川 義喜さんの作品



半田市立亀崎小学校2年
はら なつき
原 菜月さんの作品



愛西市立草平小学校3年
いのした
井下 くららさんの作品



東海市立名和小学校3年
やまざし まなみ
山岸 愛実さんの作品



刈谷市立富士松小学校3年
あいおい りえ
相生 理瑛さんの作品



刈谷市立かりがね小学校4年
いひが たいせい
飯塚 大晟さんの作品



設楽町立津具小学校4年
むらまつ かいせい
村松 快星さんの作品



名古屋市立平針北小学校4年
さくま とうこ
佐久間 塔子さんの作品



田原市立田原南部小学校5年
おおば まゆき
大場 麻由希さんの作品



名古屋市立有松小学校5年
きとう ゆづき
木藤 佑月さんの作品



名古屋市立笹島小学校6年
やまもと とし
山本 都葵さんの作品



安城市立安城北部小学校6年
かわしま せい
川島 晴さんの作品



大府市立東山小学校6年
かた こうめ
加田 幸夢さんの作品

・中学校の部



瀬戸市立幡山中学校1年
の か
矢野 ほの花さんの作品



新城市立東郷中学校1年
ななはら ゆうと
七原 優人さんの作品



豊田市立高橋中学校1年
こまた えり
古侯 衣梨さんの作品



東海市立加木屋中学校2年
さかきばら あやの
榎 原 彩乃さんの作品



名古屋市立富士中学校2年
いちかわ みさ
市川 未紗さんの作品



豊田市立益富中学校2年
とうこう
東郷 えりなさんの作品



津島市立神守中学校3年
はせがわ まり
長谷川 摩璃さんの作品



岡崎市立新香山中学校3年
とみやま もにか
富山 桃仁花さんの作品



豊橋市立豊岡中学校3年
かわにし まりえ
河西 鞠衣さんの作品

・高等学校の部



名古屋市立工芸高等学校1年
むらせ
村瀬 ひよりさんの作品



愛知県立春日台特別支援学校高等部1年
やまもと たいき
山本 大暉さんの作品



愛知県立安城南高等学校1年
なや じゅん
納家 順さんの作品



愛知県立春日台特別支援学校高等部2年
おおの たいが
大野 大雅さんの作品



名古屋市立工芸高等学校2年
かんだ りょうま
神田 稜真さんの作品



名古屋市立工芸高等学校3年
ながさか あおば
長坂 青葉さんの作品

〔自然環境課 調整・施設・自然公園グループ
電話 052-954-6227 (ダイヤルイン)〕

「愛知県災害廃棄物処理計画」を策定しました

1 計画策定の趣旨

愛知県では、南海トラフ全域で30年以内にマグニチュード8以上の地震が起きる確率は70%程度と予測されており、巨大地震がいつ起きてもおかしくない状況です。また、近年、気候変動に伴う強い台風や集中豪雨の増加により、河川氾濫や土砂災害等といったリスクも高まっています。

県は、このような災害の発生後において、早期の復旧・復興を果たせるよう、廃棄物を迅速かつ適正に処理するための「愛知県災害廃棄物処理計画」を10月31日に策定しました。

この計画は、環境省の災害廃棄物対策指針を踏まえ、発災前の業務、発災後の応急対策、復旧・復興対策等に必要な事項について、県及び県内市町村等における災害廃棄物対策の基本的な考え方や方向性をとりまとめたものです。

2 災害廃棄物発生量の推計

南海トラフ地震の場合、県内のごみ総排出量の約10年分が発生すると推計されます。

災害廃棄物	津波堆積物	合計
2,062万ト	647万ト	2,709万ト

3 災害廃棄物処理の基本方針

〔県内市町村による連携〕

内陸部と沿岸部の市町村が連携した地域ブロック（尾張・西三河・東三河）により、速やかな処理を実施します。

〔分別・選別の徹底及び再資源化の促進〕

発生段階からの分別、仮置場での選別・再資源化を徹底し、最終処分量を低減します。

〔民間事業者との連携〕

民間事業者の力を最大限活用して、迅速かつ適正な処理を実施します。

4 処理主体・県の役割

災害廃棄物は原則として一般廃棄物であり、市町村が処理主体となります。

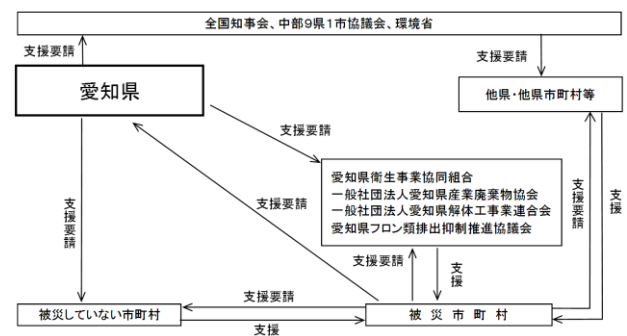
県は、市町村への技術的支援とともに、市町村間、民間事業者、他県、国との連携体制を整備します。

また、甚大な被害を受けた市町村が、自らのみでは災害廃棄物を処理することが困難な場合には、県は市町村から事務の一部を受託し、災害廃棄物の処理を行う場合があります。

5 協力支援体制

県は、市町村及び廃棄物関係団体等と災害時の応援協定を締結しており、被災市町村からの要請に応じて、相互調整し支援を行います。

また、県外自治体への応援要請については、全国知事会や環境省等を通じて、他県に対して要請を行います。



6 災害廃棄物処理対策

〔処理期間〕

- ・概ね1年以内に仮置場へ撤去し、概ね3年以内の処理を目指します。

〔既存処理施設の活用、リサイクルの推進〕

- ・既存の処理施設を最大限活用することにより、可燃物の約6割、不燃物の約7割を処理できます。
- ・選別・再資源化を徹底することにより、発生量の約8割がリサイクル可能となります。
- ・このほか、仮設焼却炉による処理、県外広域処理等を実施します。

7 計画の推進

今後、市町村計画の策定支援や訓練、人材育成等を通じて、実効性ある体制づくりを目指します。

〔資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン)〕

海ごみに関する環境学習プログラムを作成しました

海岸にたくさんのごみが流れ着いていることを知っていますか。潮干狩りや海水浴の時期は事前に清掃されているため、知らない方が多いと思います。

この海ごみの中には、内陸部でポイ捨てされたごみが多くあるため、ポイ捨てを減らすことが重要となっています。この海ごみの問題について、広く県民の皆さんに知っていただくため、環境学習プログラム(小学校中学年以上向け)を作成しました。

<環境学習プログラムの特徴>

この環境学習プログラムは小学校の授業で使えるよう、導入(動画)、体験(カードゲーム)、振り返り(ワークシート)などかわいいキャラクターが登場し、親しみやすいようになっています。

1 導入(動画)

海ごみ問題の概要を物語で紹介します。主人公の清吉が海に行き、ポイ捨てされたごみが妖怪となっ



動画のオープニング画面

て自然界に悪さをしていることを知り、妖怪たちをポイ捨てされる前の場所に返す物語です。

2 体験(カードゲーム)

海の恵みや海ごみなどが描かれたカードを使って

絵合わせゲームをし、愛知の海の恵みや、海ごみがどこから流れてくるのかをグループに分かれて学びます。



3 振り返り(ワークシート)

使用するカード

最後に、動画やカードゲームで分かったこと、問題解決に向けて自分ができていることを清吉へ手紙を書くことで、学びを共有し、行動へとつなげます。

4 指導者用マニュアル

プログラムの流れ、指導のポイント、補足資料等が記載された指導者用マニュアルも作成しました。

プログラムは海岸漂着物学習 Web サイト「あいちのうみのコト」(<http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/>)から自由にダウンロードしてご利用いただけます。貸出も来年3月から行います。

是非、様々な環境学習の機会にご活用ください。

また、本紙4ページの記事にもある11月19日(土)、20日(日)にアスナル金山で開催される環境イベント「Let's エコアクション in AICHI」で体験できます。是非ご来場ください。

〔 資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン) 〕

愛知県分別収集促進計画(第8期)を策定しました

愛知県では、アルミ缶などの容器包装廃棄物のリサイクルを促進するため、「愛知県分別収集促進計画(第8期)」を10月に策定しました。この計画は、家庭から排出される容器包装廃棄物の減量やリサイクルを目的とした「容器包装リサイクル法」に基づき市町村が行う容器包装廃棄物の分別収集などを促進するために策定するもので、平成8年に第1期計画を策定して以来、今回が8期目の計画になります。

本計画において、平成33年度に見込む容器包装廃棄物全体の排出量は約600トン減少する一方、市町村により分別収集される量は約10,000トン増加し、今後リサイクルが進む見込みです(右表)。

計画に沿ってリサイクルを進めるためには、皆さんの協力が不可欠です。お住まいの市町村のごみカレンダーなどをもう一度確認し、ごみの適切な分別に努めましょう。

容器包装廃棄物の排出量と分別収集量の見込み(単位:トン)

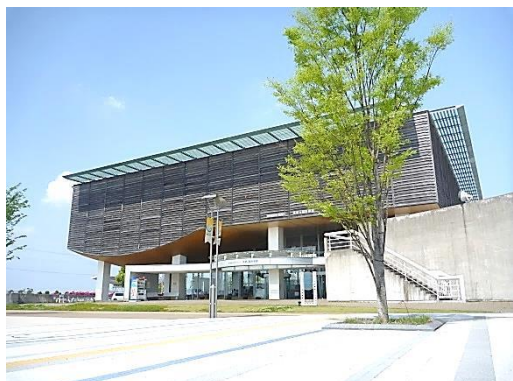
	平成29年度	平成33年度	増減量(増減率)
容器包装廃棄物の排出量	370,671	370,107	△564(△0.2%)
容器包装廃棄物の分別収集量	175,384	186,017	10,633(6.1%)
アルミ缶	4,327	4,388	61(1.4%)
スチール缶	7,699	7,557	△142(△1.8%)
無色ガラス容器	19,684	19,496	△188(△1.0%)
茶色ガラス容器	14,105	13,861	△244(△1.7%)
その他ガラス容器	8,567	8,588	21(0.2%)
紙パック	1,236	1,327	91(7.4%)
段ボール	28,284	28,112	△172(△0.6%)
紙製容器包装	14,905	17,527	2,622(17.6%)
ペットボトル	16,743	16,659	△84(△0.5%)
プラスチック製容器包装	59,835	68,502	8,667(14.4%)

〔 資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン) 〕



いのち
～ 蒲郡市生命の海科学館 ～

「みる」「さわる」「体験する」
地球と海、生命の歴史を体験しよう！



蒲郡市生命の海科学館

蒲郡市生命の海科学館は、本物のいん石や化石にふれて、地球の歴史や生物の移り変わりを学ぶことができる科学館です。

「海のまち蒲郡」にふさわしく、主に海にまつわる歴史（海の誕生、生命の初期進化、海を舞台にした古生物の進化など）をテーマとしています。

展示室に設置されている「さわれる地球」は地球環境のリアルタイム情報を知ることができ、環境学習に最適です。

また、土日祝日・夏休みにはワークショップや講演会、サイエンスショーなどのイベントを地元企業、



プレシオサウルス(複製)



さわれる地球

大学、高校、一般市民の方々の協力・連携により開催し、教育普及活動にも取り組んでいます。

気軽に楽しめる身近な科学技術の話題から、最先端の科学成果の解説まで幅広いテーマをわかりやすく学べるよう工夫しています。



展示室の様子



ワークショップの様子

これから開催される主なイベント

☆11月12日(土) 11:00～、14:00～

サイエンスショー「見えなくてもあるんだね！」

☆11月27日(日) 14:00～15:30

ミニ企画展講演会「クジラがたどった二つの道」

施設情報

開館時間：9:00～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始

※GW・春休み・夏休み、年末年始を除く冬
休み期間は休館日なし

展示室観覧料：大人 500 円 小人 200 円

住所：蒲郡市港町 17-17

電話：0533-66-1717

Web ページ：

<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/kagakukan/>

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
平成 28 年 11 月 7 日発行(第 246 号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

秋が深まり紅葉が見ごろとなる季節となりました。
各地の紅葉スポットは見ごろとなる時期が異なるため、様々な場所ですれぞれ違った景色を楽しむことができます。
11 月は、エコドライブの推進月間です。また、行楽シーズンでもあります。普段より遠出が多くなるこの季節に、自然にもお財布にも優しいエコドライブを心がけてみてはいかがでしょうか。
(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。